

33. $^{99m}\text{Tc}$ ピロ磷酸による心筋シンチグラフィー	杉木 健司	603
34. 肺吸入 Scintigraphy について	古館 正徳	604
35. $^{99m}\text{Tc-MAA}$ による肺血流 Scintigraphy	古館 正徳	604
36. 肺吸入 Scintigraphy の基礎的検討	古館 正徳	604
37. Glenn 氏手術後の肺血流シンチグラフィー	安喰 弘	605

---

## 一般演題

---

### 1. 北海道における RI 検査の現況

古館 正徳  
(北大・放)

北海道における RI 検査の現状を把握するためアンケート調査を実施した。in vitro RI 検査に関しては、現在 RI 検査を行なっている42施設中32施設(76.2%)の解答があり、最近1か月平均の検査件数は全道で約4100件で、そのうち Scintigraphy が75%を占め、肝、甲状腺、脳等の順に多く、機能検査は22%で、 $^{131}\text{I}$  摂取率、Renogram、Cardiogram 等の順であり、RI Angiography は3%である。装置では Scinticamera のみ10施設、Scintiscanner のみ22施設、両者共有は10施設となっている。in vitro RI 検査では60施設中47施設(78.3%)の解答があり、最近1か月の平均検査件数は約2万6千件で、そのうち Thyroid test が42%を占めて最も多く、Insulin が22%、ついで Hepatitis B Antigen, Renin,  $\alpha$ -fetoprotein, Gastrin 等となっている。試料測定装置では、調査した57台中、ウェル型等の手動のものが72%を占め、自動は28%であった。

### 2. TLD による放射線作業従事者の手指被曝について

沢石 政勝  
(札医大・中央 X 線部 RI 診断室)  
今野 晋作 高橋貞一郎  
湯川 元資 久保田昌宏  
大久保 整 斎藤 明男

〔目的〕 当病院において、昨年12月に放射線管理室が設置され、被曝管理の一環として放射線作業、特に分注および静注時の医師、放射線技師について手指被曝線量を測定し一応の結果を得たので報告する。分注1回当たり平均の被曝について  $^{99m}\text{Tc}$  1 mCi 分注時で1~5mR 前後、 $^{67}\text{Ga}$  5 mCi 分注時で約3~6 mR であった。また静注時の医師の被曝については  $^{99m}\text{Tc}$  1 mCi 当たり約1.36 mR であったが各核種全般についてみると注射時の持続時間によってかなりの相違がある。いずれにせよ  $^{99m}\text{Tc}$  1 mCi 分注時で3 mR 前後、静注時で1~2 mR 前後の被曝は避けられない。

以上のことから使用者の熟練度等、いろいろあるが  $^{99m}\text{Tc}$  については 1 mCi 当たりほぼ一定量の被曝が手指にあることになり、防護三原則に熟知し充分に注意して RI を取り扱う必要があると思われた。